

COVID集中学習支援プログラム

保護者向け情報

COVID集中学習支援プログラムについて

COVID集中学習支援プログラム (COVID Intensive Learning Support Program (CILSP)) は、NSW州のプライマリー・スクール、セカンダリー・スクールおよび専門学校において、補習授業を最も必要とする児童・生徒を対象に小グループで提供されます。

本プログラムは、NSW州教育省およびカトリック・スクールズNSWおよびNSW州インディペンデント・スクール協会による共同の取り組みです。

このプログラムは、主にCOVID-19 (新型コロナウイルス感染症) のパンデミックにより長期間にわたる自宅学習の結果、学習への影響が見られた児童・生徒を支援するために導入されたもので、読み書き能力と計算能力に重点を置いています。

大学講師やプリスクールの教師など、特別な研修を受けた教師やその他の教育者を雇用して、各学校がそれぞれ児童・生徒のニーズに合わせて、独自のプログラムを作成、実施します。こういった小グループの補習は通常の授業時間の前後、あるいは授業時間中に行われる場合もあります。

プログラムの仕組み

学校にはCOVID集中学習支援プログラムのための助成金が拠出され、小グループの児童・生徒に補習授業を行う追加の教育者を雇用することができます。

クラスの担任は学校長と協力して、さまざまな成績評価などをもとに、どの児童・生徒がこの小グループの補習授業に適しているかを決定します。

その後、プログラムへの参加についてそれぞれの児童・生徒の保護者と相談し、指導計画を作成します。児童の学習状況は定期的に確認され、保護者の方々にも継続的に連絡が行われます。

本プログラムの主な特徴

- 本プログラムは、NSW州すべての公立学校において児童・生徒たちに支援を提供してきました。2021年には合計26万5000人の児童・生徒がサポートを受けています。
- 小グループの補習授業は、臨時教員、退職した教員、教育実習生などを含む、特別に任命された教育者たちによって行われます。これらの教育者たちは、児童・生徒のニーズを満たすため、担任の教師と密接に協力して授業に取り組みます。
- 補習授業は読み書き能力と計算能力に重点を置きます。
- プログラムの実行にあたり、専門の教育者および管理職員のチームが支援および指導を行います。
- 小グループの補習授業では、2人～5人の児童・生徒を対象に補助的な指導および学習が行われます。児童・生徒は所定の時間内、通常の授業における学習の補強を目的とした指導を一貫して受けることになります。



COVID集中学習支援プログラムとお子さん

このプログラムがお子さんに適していると判断した場合、担任の教師は保護者の方にご連絡いたします。

当プログラムについて詳細をご希望の場合は、COVID集中学習支援プログラムのウェブサイト ([COVID Intensive Learning Support Program webpage](#)) をご覧ください。さらに詳しい情報をご希望の方は、担任の教師にご相談ください。

電話通訳サービス

さらに詳細な情報をご希望の場合は学校長までお電話ください。お問い合わせの際に通訳を希望される方は、電話通訳サービス (TEL: 131 450) をご利用ください。オペレーターが電話に出たら、日本語の通訳をご指定のうえ、相手先の電話番号をお伝えください。通訳が電話を介して会話をお手伝いします。このサービスは無料でご利用いただけます。